

もくじ



今月の表紙
『セイナホーム』

事業所データ

代表 立石 凌太

◆住所

加古川市志方町永室566-1

◆電話

079-458-2234

◆ホームページ



◆表紙写真

- ①施工現場にて従業員さんと（右側が代表の立石さん）仕事時の真剣な姿とは対照的に、撮影時は気さくにこ対応くださいました。
- ②③従業員とは家族ぐるみで交流があり、定期的に食事会も開催されているそうです。
- ④⑤職人としての誇りを胸に、丁寧な仕事を積み重ねています。
- ⑥⑦外壁塗装・防水工事事例（詳しくはHPをご覧ください）

2 特集

補助金活用術

～デジタル化・AI導入補助金・中小企業省力化投資補助金～

7 クローズアップ

「時代に即して変革できる女性経営者団体に」

加古川商工会議所 女性会

会長 池澤 加代子 さん

9 エッセイ

「あの歓声を、このまちでも。」

Cento Cuori HARIMA (榊ムサシ)

代表補佐 兼 アカデミーマネージャー 滝野 将成 さん

11 会議所のうごき

令和7年度 事業報告・決算 他

13 団体だより

青年部・女性会・異業種交流会

14 会議所からのお知らせ

印刷物入札 他

15 暑中見舞名刺広告

20 会議所カレンダー

「今月の“こんな日”」

皆さまの声をお聞かせください（アンケート回答はこちら）



セイナホーム代表の立石さんは、親族が営むリフォーム会社で屋根や塗装の職人として修業を積んでこられました。独立当初は屋根工事を中心に事業を展開していましたが、従業員の入れ替わりも多く、体制づくりに苦労した時期もあったといいます。それでも一つひとつの現場に向き合い続けることで施工実績を重ね、現在は塗装工事や屋根工事に加え、防水工事など依頼が増えている分野にも対応できる体制を整えておられます。

その根底にあるのが、「施工方法に則り、正しく行つ」という姿勢です。職人として、見えない部分こそ丁寧に仕上げることを従業員や協力会社にも徹底して伝えているとのこと。お客さまが気持ちよく依頼できるように、そして自分たちも気持ちよく仕事ができるように、互いに誠実な関係性を築くことを何より大切にしていると語られました。

また、現場調査では「憶測で伝えない」ことも大事にされているそうです。原因が分かれば最適な施工を提案し、分からない場合には持ち帰って調べる。それでも判断が難しい場合には、曖昧な説明はせず「分らない」と正直に伝える。その上で専門の協力会社に依頼し、確実な施工につなげる姿勢が信頼につながっているといいます。

印象に残っている工事として、雨漏りの修理依頼を受けて調査した際、雨漏りが原因で白アリによる木材の腐食が進み、屋根の骨組みが崩れ落ちる寸前だった現場があったそうです。木材の交換を含めた大工事となりましたが、完了後にお客さまが「今やつとしてよかった」と安堵された表情を見せられたことをよく覚えていて話してくださいました。こうした経験が、住まいを守る仕事の責任の重さを改めて感じるきっかけにもなつたといいます。

現在、従業員は3名。それぞれの人生を預かっているという責任を日々感じながら、安心して長く働ける環境づくりに力を入れておられます。自社も自分も従業員も共に成長していける会社にしていきたいという思いが、事業の根幹にあります。

立石さんは、身近なリフォーム会社として地域に根ざし、家のことで困ったときに気軽に相談してもらえる存在を目指しておられます。今後は人材を増やし、対応できる工事の幅をさらに広げていきたいと考えており、特に塗装工事は強化したい分野だといいます。単に塗装するだけでなく、モルタル造形による模様付けなど、多様な要望に応えられる技術を伸ばしていきたいとのこと。

施工事例はホームページでも紹介されていますので、家のことと気になることがあればお気軽にご相談ください。